

# IGF2016への日本からの関わり方



一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
インターネット推進部・IP事業部  
奥谷泉

# IGF開催準備に向けての関係者

## • Internet Governance Forum (IGF)とは

- WSISチュニズアジェンダから発足、国連主催、誰でも参加可能、マルチステークホルダによる対話
- <https://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No47/0800.html>

### 主催:

(MAG議長・メンバー、  
会議開催地の選定等、会議に  
関する決定)

**UNDESA**  
国連経済社会局

**ホスト国**  
2016年はメキシコ

会場、Web提供  
その他地元開催調整

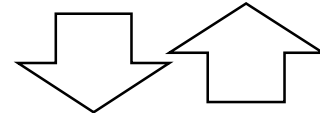
### IGFのプログラム委員:

プログラム選定方針、プロセスの決定  
「Workshop」プログラムの公募・選定  
メインセッションのテーマ、構成決定

**MAG**

Multi-stakeholder  
Advisory Group

毎年国連社会事務局が  
MAGメンバー選定  
(地域、関係者属性、  
性別、専門性等を考慮)



### 参加者:

国連経済社会局へのMAGメンバー推薦  
ワークショップの応募  
準備会議にも参加可能

**各種コミュニティ**

# IGF2016開催に向けての準備

## • 議長、プログラム委員の発表

初の民間、  
初の女性議長

- 国連事務総長→IGF議長任命：Lynn St. Amour (3/11)
- IGF2016 MAGメンバー発表：55名(3/23)
  - <http://www.un.org/press/en/2016/pi2159.doc.htm>

日本からはJPNIC奥谷  
(今年が任期最終)

## • プログラム検討に向けた第1回の会議実施

- 2016年4月4-6日 ジュネーブ、WIPO事務局
- “First Open Consultation and MAG Meeting”
  - MAGに限らず、誰でも現地・リモート参加可能
  - <http://www.intgovforum.org/cms/component/jevents/icalrepeat.detail/2016/04/04/496/-/igf-2016-first-open-consultations-and-mag-meeting?Itemid=28>

# Open Consultation and MAG Meeting

- **開催概要決定**

- 日程：2016年12月6(火)-9(金)日 12月5日(月)Day0
- 開催地：メキシコ・グアダラハラ
- <http://www.igf2016.mx/>

メキシコは2013年にNational Digital Strategyを公表  
全国アクセス提供含めた対策に注力



会場：Cultural Institute Cabanas

- **メインテーマが決定**

- Enabling Inclusive and Sustainable Growth  
(包括的および維持可能な成長の実現)

- **Workshopセッション企画の公募、4月15日に発表される見込み**

# IGF2016準備会議:その他議論

- **Intersessional Work高評価、継続される見込み**
  - Horizontal Theme、Best Practices Forum
  - IPv6Best Practices Forum継続への支持(経済要素重点)
- **メインセッションのテーマ検討中**
  - National、Regional IGF – 多数の支持
  - IoT、IPv6とInformation Societyも一案としてある
- **IGFの改善**
  - CSTD IGF Improvements WG議長も言及
- **プロセスの透明性**
  - MAGメンバ・議長選定等、主要な決定透明性欠如
- **途上国、先進国の低認知度の国から参加促進**

# 国内からのワークショップ応募 についての議論

- 今回の会議で先進国の日本での認知度が低いことについて複数のMAGメンバーが反応
- IGCJ11での議論、意見に出た案
  - キャパシティビルディング
    - マルチステークホルダに向けた日本コミュニティの事例
    - ソマリアの.SO TLDレジストリへの支援、すしざんまい等
    - IPv6の事例
  - セキュリティに関するIGCJの文書作成プロジェクト
  - IoTの知的財産権
    - 例えばITS（高度道路交通システム）の賠償責任
  - Jim Fosterさんがアジアと米国を巻き込んで、サマープログラムおよびディスカッションプログラムを開催している。そこと連携するのはどうか。

# Open Consultation and MAG Meetingの様子



# 国内からの応募を検討する場合

- **昨年までの基準**

- 地域、性別、関係者グループの多様性
- 話題への切り口が新しいか、議論を行いやすいフォーマットか等が重視される
- 日本の取り組みを紹介する場合は日本政府からOpen Forumへ応募する形式が適切

- **応募できそうな方向性(案)**

- IoTとセキュリティ
  - ただし、よくあるテーマなので新しい切り口が求められる、他と重複する可能性あり
- IoTと知財
  - 切り口としては新しい、知財の専門家へのリーチ必要
- 国外と強いリンクを持つ既存の国内機関との連携



# みなさんへのご相談

---

- 日本から、何かセッション提案を出してみませんか？
- この中で応募に興味をもったテーマはありましたか
  - 応募準備や他国の登壇者（多様性確保に必要）を探すのは、JPNICでお手伝いします！  
(他国のスピーカー探しはJPNICの交流範囲で支援可能です)